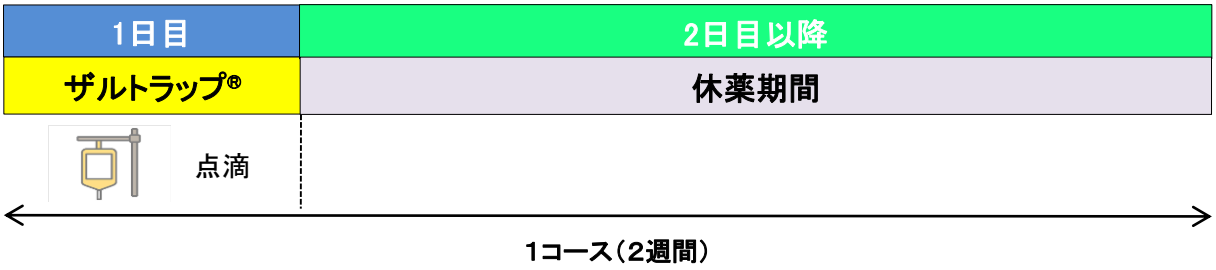
2020.10作成

ザルトラップ®の治療を受けられる方へ

●ザルトラップ®は結腸・直腸がんに用いられます。FOLFIRI療法と併用して使用します。

投与スケジュール



2週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用

次のような症状が現れたら、医療スタッフにお知らせください。
※　個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

◇インフュージョンリアクション
点滴中に、発熱、寒気、息苦しさ、まぶた・唇のはれなどの症状が出ることがあります。
このような症状を感じたらすぐに医療スタッフに申し出てください。

◇高血圧
放置すると血管や心臓などに負担をかけることになるので、降圧薬を飲んで血圧をきちんとコントロールすることが大切です。日々の血圧をチェックするために、家庭血圧計で血圧を測定するとよいでしょう。

◇頭痛
頭痛が起こった場合、医師に連絡してください。高血圧が原因になっている場合もありますので、血圧の測定をしてみましょう。

◇蛋白尿、ネフローゼ症候群
尿の蛋白質量が増加する場合があります。また、全身の著明なむくみ、尿量が減るなどの症状を認めた場合は連絡してください。

◇下痢
下痢が続くと脱水症状となることがあるので、スポーツ飲料などで水分補給をするようにしましょう。
激しい下痢や腹痛が長く続くときはご相談ください。

◇疲労
「だるい」、「疲れやすい」といった身体的・精神的な疲労感が出ることがあります。治療中は、無理をせず、十分に休息をとることが大切です。

◇白血球・好中球減少：抵抗力の低下
白血球・好中球の数が減ると体の抵抗力が落ち、風邪などの感染症にかかりやすくなります。
38℃以上の発熱がみられた場合、すぐ受診してください。
外出時はマスクを着用し、人ごみを避けてください。
手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇出血
ほとんどの場合は軽度で、安静にしていればいずれ止まります。出血がなかなか止まらない時は、ご相談ください。
血の混ざった痰や便、黒色便、喀血、運動のまひ、しゃべりにくいなどの症状を認めた場合は受診してください。

◇血栓塞栓症
しめ付けられるような胸の痛み、息切れ、息苦しさ、などの症状が現れたら、すぐ連絡してください。
足のむくみやしびれなどの症状が現れたら、すぐ連絡してください。水分をとり、長時間同じ姿勢はとらないようにしましょう。

◇消化管穿孔：腹痛
突然強い腹痛が起きた場合、すぐ連絡してください。

文責：岐阜市民病院薬剤部　TEL: 058-251-1101